

東アジア文明研究所 設立趣意書

【設立の背景】

21 世紀の国際社会において、東アジア地域は経済、技術、文化の面で世界に大きな影響と推進力を与えています。古来、この地域は漢字、仏教、儒教、律令制などの共通基盤を通じ、互いに影響を与え合いながら独自の「東アジア文明」を築いてきました。

しかし、急速なグローバル化や政治・経済の変動に伴い、相互理解の重要性が高まっており、政治・経済の枠組みを超えて地域史・文化の共通性を再発見し、未来の共生へ向けた知恵を生み出す学術的拠点の構築が求められています。

【設立の目的】

本研究所は、東アジア（日本、中国、韓国、ベトナム、モンゴル等）の歴史、伝統文化、思想から現代の社会課題に至るまでを総合的・多角的に研究することを目的とします。

過去の歴史文化遺産を深く掘り下げる「人文学的研究」と、現代社会の諸問題を捉える「社会科学的研究」を融合させ、地域社会の平和と発展に寄与する新たな「知」の創出を目指します。

【主な活動内容】

当研究所は、主として以下の 4 つの柱を中心に活動を展開してまいります。

1) 共同研究・学術調査の推進

・国内外の大学・研究機関と連携し、東アジアの考古学、比較文化、現代社会論などの共同研究プロジェクトに参画していきます。

2) 研究成果の社会還元と発信（出版・メディア事業）

・難解な学術書にとどまらず、一般の読者が東アジアの歴史や文化に親しみ、深く学べるような「分かりやすく質の高い一般向け書籍」の企画・出版を行い、Amazonをはじめとするオンライン書店や電子書籍などのインターネット流通網を最大限に活用し、地域や世代を問わず、広く世界中の読者へダイレクトに「知」を届けます。

3) 国際学術ネットワークの構築

・次世代を担う若手研究者の育成と、東アジア各国の研究者が会する国際シンポジウムやワークショップを企画します。

4) 市民講座・文化交流の実施

・一般市民やビジネスパーソンを対象とした講座やフォーラムを開催し、東アジアの多様な文化への理解を深める草の根の交流を促進します。

【結びにかえて】

東アジア文明の底流にあるのは、異なるものを受け入れ、調和を生み出してきた「和」と「包摂」の精神です。本研究所は、過去を鑑（かがみ）として現在を見つめ、未来の東アジア、ひいては世界のあるべき姿を提言する羅針盤となることを目指します。異文化理解を深め、国境を越えた学術の対話こそが、真の相互信頼を醸成する礎であると確信しております。

本研究所の設立趣旨にご賛同いただき、皆様の温かいご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026 年 7 月 1 日

東アジア文明研究所

所長：黄 曉芬（こう ぎょうふえん）



東アジア文明研究所

East Asian Civilizations Research Institute